

正司歌江さんを迎え

生涯学習

フェスティバル

十二月十七日、ホリデイホールで、生涯学習活動の振興を図り、日ごろの学習、文化活動の成果を発表し、おとうと、南国市生涯学習フェスティバルが開かれました。今年が十回目の開催。国府小学校六年生による「土佐日記の暗誦」で幕を明け、郷土芸能も続いで披露。また、大橋、日章小学校児童の合唱のほか、女優の正司歌江さんが「笑いと涙と希望の人生ドラマ」と題して講演しました。



市民訪問団が沼市へ

南国市民訪問団一行二十人は、十一月十四日から三日間、姉妹都市岩沼市を訪問しました。両市は行政間の交流にとどまらず、児童や青年、婦人ら民間各層の幅広い交流を続けています。

仙台空港へ到着した十四日、訪問団一行は、航空保安大学校、岩沼市



航空保安大学校を視察



岩沼市の子どもたちから花を贈る



歓送会では交流を深めました

民会館、総合体育館を見学した後、岩沼市役所を表彰訪問。小野市長さんをはじめ、たくさんの職員の人たちが暖かく迎えてくれました。市庁舎前では岩沼小学校の金管バンド演奏などの歓迎セレモニーが、また、夜には竹駒神社の参集殿で交流会も行われ、互いに一層の交流を誓っていました。

韓日協会会長

商工会を訪問

日本と韓国の文化や学術交流をすすめている団体「韓日協会」(趙萬濟会長)の会長ら八人が、十二月六日來高しました。耶馬台国が土佐にあつたとする説を唱えるグループが招いたもので、高知西高校や県庁を訪問した後、南国市商工会に吉村会長らを表敬訪問しました。趙会長は、流暢な日本語で吉村会長らと国際交流、特に農業技術者などの人的交流について会談されました。



障害者とボランティアの集い



▲12月13日、市社会福祉センターでボランティア集会、「障害者の日」の集いが開かれました。

約50人の参加者らは、竹島強岡豊病院院長の「老人性痴呆症をめぐる諸問題」、土佐清風園の中西和子さんの「施設開放と給食サービス」の講演を熱心に聞き入っていました。



▼12月17日、大藤小体育館で、家族の絆を深めながら健康づくりをと、ファミリースポーツフェスティバルが開かれ、参加した19チーム約80人は一日、和やかにミニソフトバレーボールを楽しみました。



▲12月9日、市役所を会場に市民ら約100人が参加して、人権のつどいが開かれました。

長岡小学校解放子ども会による「解放太鼓」の演奏や、北海道ウタリ協会札幌支部事務局長の阿部ユボさんによる「アイヌ民族史」と題しての講演が行われ、参加者は人権尊重への認識を新たにしました。

▼十二月十日、老人保健施設「夢の里」は、赤星建設さん(東京コミュニケーション)ボランティア協会理事を歓迎し、機能回復や老化防止のための音楽療法指導を行いました。赤星さんの独自の音楽療法で海外でも成果をあげており、夢の里訪問は三回目。和やかな雰囲気の中、お年寄りらは、赤星さんといっしょに「もみじ」などの曲を、楽しそうに歌っていました。

▶十二月一日「民生委員・児童委員」が改選され、六日、厚生大臣からの委嘱状が新委員さんに手渡されました。百十三人の委員さんはこれから三年、母子家庭、高齢者、障害者などの福祉の向上に尽力してまいります。



▼12月3日、土佐藩士が参勤交代の際に歩いた「北山道」を歩くイベントが開かれ、約120人の参加者が高知城から南国市の紀氏邸跡までの約18kmを周辺の史跡や文化財を訪ねながら歩きました。



▶人権週間がスタートした十二月四日、大藤小生校の児童が老人保健施設「日銀荘」に、人権の花をプレゼントしました。



▲12月2日、南国市の造園業協会が公園などの緑樹を剪定しました。

毎年、同協会の会員らがボランティアで行っているもので、この日は、加入3業者から各1人のメンバーが集まり、市庁舎の庭木を剪定の後、日吉町、駅前町の緑地公園のクスノキなどを次々と剪定してくれました。